

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第17期第2四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 端 慶 久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第16期 第2四半期連結 累計期間	第17期 第2四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自 平成24年 2月1日 至 平成24年 7月31日	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 6月30日	自 平成24年 2月1日 至 平成24年 12月31日
売上高 (千円)	2,242,282	2,555,313	4,140,539
経常利益 (千円)	370,846	549,465	496,029
四半期(当期)純利益 (千円)	207,812	322,532	245,408
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	210,340	374,547	273,582
純資産額 (千円)	4,000,028	4,315,015	4,063,270
総資産額 (千円)	5,240,038	5,763,441	5,426,695
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	429.90	672.37	509.46
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	76.3	74.9	74.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	502,485	461,703	735,705
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	548,993	152,603	388,360
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	796,427	122,266	797,395
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,012,038	2,321,205	2,100,668

回次	第16期 第2四半期連結会計期間	第17期 第2四半期連結会計期間
会計期間	自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	62.91	252.90

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政権交代や金融緩和等の経済政策への期待を背景に、円安・株高が進行し、景気回復への兆しがみられるものの、一方で、長引く欧州経済の低迷や新興国経済の減速の影響、また将来の消費税増税等の不安要素から、先行きには依然として不透明感が残っております。

IT業界においては、自社のシステムを外部の専門業者に委託する「クラウドコンピューティング」の導入や、スマートフォンなどの「モバイル端末」の利用が一層の進展を見せるなど、新しい形態でのITサービス活用がさらに拡大してまいりました。

このような状況の下、当社グループは引き続きグループウェア製品のさらなる機能強化及びクラウドサービス事業の強化に努めております。

エンタープライズグループウェア「サイボウズ ガルーン」においては、パッケージ版の最新バージョン「サイボウズ ガルーン 3.7」を4月24日より発売開始しました。従来のバージョンではサーバーマシン1台で利用できるユーザー数が3,000名程度まででしたが、最新バージョンではサーバーマシン1台で5,000名まで利用いただくことが可能になりました。その他にも、スケジュール/モバイル/管理機能を中心に、多くの機能追加と機能改善を実施いたしました。

また、自社クラウド基盤、「cybozu.com」上の各サービスについては、導入社数は4,000社を超え、引き続き堅調に推移しております。

このような状況下において、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するクラウドサービスの売上が積み上がり、連結売上高は2,555百万円となりました。営業利益については、人件費が増加したこと等により558百万円、経常利益は549百万円、四半期純利益は322百万円となりました。

なお、当社は平成24年12月期に決算期を1月31日から12月31日に変更しており、平成25年12月期第2四半期は比較対象期間が異なることから、業績に関する前期比増減のご説明を省略させていただいております。

(2) 財政状態

第2四半期連結会計期間末の資産合計は、売掛金の回収や製品・サービスの将来売上分の前受金の受取り等により現金及び預金が220百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ336百万円増加し、5,763百万円となりました。

負債合計につきましては、前受金が増加したことや、未払法人税の計上額の増加等から、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、1,448百万円となりました。

また、純資産合計につきましては、第2四半期連結累計期間に322百万円の四半期純利益を計上したこと、および円安の影響により在外子会社の為替換算調整勘定が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、4,315百万円となりました。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前第2四半期連結会計期間末より309百万円増加し、2,321百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、461百万円となりました。法人税の支払いが126百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が536百万円、減価償却費が138百万円となったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出された資金は、152百万円となりました。これは主に固定資産の取得による支出等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出された資金は、122百万円となりました。これは、配当金の支払いによる支出があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は117百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,934,280
計	1,934,280

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	527,578	527,578	東京証券取引所 市場第一部	当社は単元株制度を採用しておりません。
計	527,578	527,578	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	527,578	-	613,810	-	976,765

(6)【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
畑 慎也	東京都文京区	86,725	16.44
C b z サポーターズ株式会社	東京都文京区後楽1丁目4番14号	80,000	15.16
サイボウズ従業員持株会	東京都文京区後楽1丁目4番14号	18,670	3.54
山田 理	東京都文京区	18,563	3.52
中野 博久	京都市左京区	17,000	3.22
田畑 正吾	大阪市北区	14,080	2.67
西端 慶久	東京都文京区	7,155	1.36
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	4,906	0.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	4,282	0.81
石川 靖明	東京都大田区	3,990	0.76
計	-	255,371	48.40

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式であります。
2. 上記のほか、自己株式が47,881株あります。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 47,881	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 479,697	479,697	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	527,578	-	-
総株主の議決権	-	479,697	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都文京区後楽1丁目 4番14号	47,881	-	47,881	9.08
計	-	47,881	-	47,881	9.08

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,400,668	3,621,205
受取手形及び売掛金	700,481	755,386
仕掛品	1,042	899
原材料及び貯蔵品	10,401	9,385
繰延税金資産	63,577	38,896
前払費用	43,687	57,265
その他	20,731	14,585
貸倒引当金	946	874
流動資産合計	4,239,643	4,496,750
固定資産		
有形固定資産	241,842	279,428
無形固定資産		
のれん	2,233	1,276
ソフトウェア	96,723	131,626
ソフトウェア仮勘定	79,691	27,035
その他	8,292	8,587
無形固定資産合計	186,941	168,525
投資その他の資産		
投資有価証券	442,561	449,438
敷金及び保証金	163,973	164,236
繰延税金資産	132,414	188,543
破産更生債権等	3,432	3,576
その他	20,580	17,781
貸倒引当金	4,694	4,839
投資その他の資産合計	758,267	818,736
固定資産合計	1,187,052	1,266,691
資産合計	5,426,695	5,763,441
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,086	9,935
未払法人税等	130,712	254,555
役員賞与引当金	11,000	-
前受金	710,954	755,226
未払金	240,229	189,487
その他	259,443	239,221
流動負債合計	1,363,425	1,448,426
負債合計	1,363,425	1,448,426

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,668,740	3,868,470
自己株式	1,199,979	1,199,979
株主資本合計	4,059,336	4,259,066
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,277	50,865
その他有価証券評価差額金	656	5,082
その他の包括利益累計額合計	3,933	55,948
純資産合計	4,063,270	4,315,015
負債純資産合計	5,426,695	5,763,441

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,242,282	2,555,313
売上原価	164,854	202,504
売上総利益	2,077,428	2,352,809
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	612,121	675,946
業務委託費	69,055	83,686
貸倒引当金繰入額	1,651	72
のれん償却額	1,213	957
その他	1,021,256	1,033,530
販売費及び一般管理費合計	1,705,299	1,794,193
営業利益	372,128	558,615
営業外収益		
受取利息	2,091	1,002
受取配当金	162	202
受取手数料	546	881
還付消費税等	6,909	6,535
その他	1,330	1,456
営業外収益合計	11,040	10,077
営業外費用		
為替差損	9,842	19,227
自己株式取得費用	2,475	-
その他	4	0
営業外費用合計	12,322	19,227
経常利益	370,846	549,465
特別損失		
関係会社株式売却損	11,395	-
固定資産除売却損	12,840	1,457
事務所移転費用	3,890	-
寄付金	-	12,000
特別損失合計	28,125	13,457
税金等調整前四半期純利益	342,721	536,008
法人税、住民税及び事業税	126,748	247,317
法人税等調整額	8,160	33,841
法人税等合計	134,909	213,475
少数株主損益調整前四半期純利益	207,812	322,532
四半期純利益	207,812	322,532

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	207,812	322,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	4,425
為替換算調整勘定	2,401	47,588
その他の包括利益合計	2,528	52,014
四半期包括利益	210,340	374,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,340	374,547

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	342,721	536,008
減価償却費	113,224	138,381
のれん償却額	1,213	957
固定資産除売却損益(は益)	-	1,457
関係会社株式売却損益(は益)	11,395	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,318	72
受取利息及び受取配当金	2,253	1,205
売上債権の増減額(は増加)	50,163	45,859
たな卸資産の増減額(は増加)	4,591	1,158
仕入債務の増減額(は減少)	1,527	1,150
未払金の増減額(は減少)	15,559	57,181
前受金の増減額(は減少)	113,833	44,272
その他	1,306	29,829
小計	623,482	587,081
利息及び配当金の受取額	2,253	1,205
法人税等の支払額	123,250	126,582
営業活動によるキャッシュ・フロー	502,485	461,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	2,000,000	-
有形固定資産の取得による支出	67,933	93,943
無形固定資産の取得による支出	76,231	57,847
投資有価証券の取得による支出	13,700	-
関係会社株式の売却による収入	24,185	-
敷金及び保証金の差入による支出	17,855	1,653
敷金及び保証金の回収による収入	-	840
定期預金の預入による支出	1,300,000	1,300,000
定期預金の払戻による収入	-	1,300,000
その他	528	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	548,993	152,603
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	196,441	122,266
自己株式の取得による支出	599,985	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	796,427	122,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	33,703
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	255,135	220,537
現金及び現金同等物の期首残高	1,756,902	2,100,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,012,038	1 2,321,205

【会計方針の変更】

(有形固定資産の減価償却の方法)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による影響は軽微であります。

【追加情報】

(自己株式の取得)

当社は、平成25年6月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

(1) 取得する株式の種類

当社普通株式

(2) 取得する株式総数

35,000株(上限)(発行済株式総数に対する割合 6.63%)

(3) 株式の取得価額の総額

600百万円(上限)

(4) 自己株式取得の日程

平成25年7月1日～平成25年8月30日

(5) 取得方法

東京証券取引所における市場買付け

(6) その他

上記決議に基づき、平成25年7月以降普通株式の取得を実施しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金	3,312,038千円	3,621,205千円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,300,000	1,300,000
現金及び現金同等物	2,012,038	2,321,205

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月20日 定時株主総会	普通株式	199,078	398	平成24年1月31日	平成24年4月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成24年2月10日の取締役会において決議された自己株式の取得を行い、この結果当第1四半期連結会計期間において自己株式が599,985千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において1,199,979千円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成24年4月3日をもって、終了しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月27日 定時株主総会	普通株式	122,802	256	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	429円90銭	672円37銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	207,812	322,532
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	207,812	322,532
普通株式の期中平均株式数(株)	483,396	479,697

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

サイボウズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 牧野 隆一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 和充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。